総合的な学習の時間
「福祉体験学習」手話

藤沢市立湘洋中学校

単元（題材）目標

○社会には、いろいろな状況や立場に違いのある人がいることを知り、特に障がいのある人についての理解を深める。

○支援が必要な人に対し、自分が現在できること、また将来できそうなことを考えるきっかけとする。

（１）実施時期　　通年

平成 30 年 6 月 25 日（月）

＊毎年６月頃に、第２学年の総合的な学習の時間において福祉体験学習を実施している。

（２）対象（学年等・人数）

第２学年　選択生徒　80 名

（３）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭　１名（１学年所属）外部講師　２名（聴覚障がいの方、通訳の方）

（４）実施内容

① 講師による講話

○「聴こえない」障がいについて

○コミュニケーションについて考える

○体験談⇒ 中途失聴～障がいを受け入れ手話を獲得するまで

② 手話の体験

○〈伝える、読み取る〉体験 ⇒ 口話、読話（読唇）、ジェスチャー

○挨拶、指文字、名前の手話表現(自己紹介)

○手話ソング「ドレミの歌」

（５）成果

○講師の方は中途失聴のため、聴こえていた時からしだいに聴力を失っていく過程を直接話していただき、それを受け入れる心と生活の大変さをよく理解できた。

○特に手話ソングを通して、興味をもち手話表現することの楽しさを深められた。

○講座のあと、掲示した指文字表を見ながら覚えて使おうとする生徒が増えた。

（６）その他

○継続して手話学習を取り入れ、音楽の授業で手話合唱に学年で取り組んでみたい。

・　**〈生徒の感想～抜粋〉**

○手話の体験をしてわかったことは「人に何かを伝える時は大げさにやり、しっかり相手に伝えるぞ！という気持ちを持つ」ということです。私が生活をする中で、普段何も考えずに電車に乗ったりしますが、これからは周りを気にしながら公共の場を使い、何か困っている人を見かけたら声をかけてみようと思いました。